

平成20年度 南丹市事業評価表 (平成19年度 実施事業)

事業CD. 21109 事業名: 地域振興関連施設管理運営費
 細事業名: スプリングスひよし管理運営費

政策体系上の位置付け (参考) 平成20年度～ 総合振興計画実施事業

政 策: 第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る
 基本施策: 4 ひとを温かく迎える
 主な施策: (5) 温泉の活用

所管部署名
 部局名: 日吉支所
 課 名: 地域総務課

科目CD. 1020109 作成日 平成20年10月21日

事業分類: C1: 施設管理費
 新規事業 時限事業 (平成 年度迄)

実施根拠 (法令、条例等)
南丹市公の施設の設置及び管理に関する条例、南丹市スプリングスひよし条例 他

事業運営方法 直営 一部委託 全部委託 補助等
 委 託 先 民間 三セク NPO 学校 自治会・地縁団体
 その他 ()

事業概要	
◆ 課題・目的 (どのような課題を解決するために実施した事業なのか)	観光振興及び施設利用者の健康増進が進むよう、日吉温泉・温水プール・体育館・レストラン・物販施設等を開設する。
◆ 活動内容 (具体的にどのような活動を行ったのか)	指定管理者の運営により、温泉・温水プール・体育館・レストラン・物販施設などを開設した。
◆ 対 象 (この事業を実施するにあたり、ターゲットとした者(物)は何か)	施設を利用する市民
◆ 結 果 (この事業を実施したことにより、どのような効果または結果が得られたのか)	観光振興と健康増進が図れる。

指 標		単 位	18実績	19実績	20予算	21計画
活 動 指 標	① 施設開設日数					
	②					
	③					
	④					
	⑤					
			精 査 途 中			
対 象 指 標	① 利用人数					
	②					
	③					
			精 査 途 中			
成 果 指 標	① 利用人数の増加数					
	②					
	③					
			精 査 途 中			

市民や議会等からの要望・意見 (要望や意見の内容とその内容を確認した手段は何か)

—

近隣市町村や民間企業での同種事業の実施状況

福知山市や与謝野町では同種の施設を閉鎖されるなど、本事業を取り巻く状況は厳しい。南丹市近郊において民間企業での同種の施設は無い。

決算(予算)額		(千円)	47,225	43,743	42,000	41,000
財源内訳	使用料・手数料等	(千円)	22,000	26,000	22,000	22,000
	国・府支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	25,225	17,743	20,000	19,000
職員従事時間		(人)		0.10		
人件費 ※		(千円)		726		
トータルコスト ※		(千円)		44,469		

※人件費は、職員の給与・諸手当・共済などから、一定の基準に基づき算定したおおよその額です。
 ※人件費およびトータルコストは、あくまでも参考値です。

【公共性の評価】

- (1) 行政の守備範囲 (民間や市以外の機関等が実施すべき事業ではなかったか)
 法令等により定められた事業 市が実施すべき事業 行政内部の事業
 民間等での実施は見込めない 民間等での実施も可能

説明: 設立の経過も含め、市の所有が望ましい

- (2) 事業選定の妥当性 (事業の目的や意図が政策や施策の目指す方向にあっているか)
 施策等の実現に向けた事業 施策等の方向とマッチしていない

説明: 誘客、健康増進を図るための事業である

- (3) 対象の妥当性 (事業の本質から考えて的を得た対象を定めているか)
 本質に沿った対象である 的を得た対象となっていない

説明: 施設利用者のための施設になっているか考えた

【有効性の評価】

- (4) 課題解決への有効度 (目的の達成や、課題解決のために有効的な事業か)
 かなり有効的 当初の予想どおり 予想しても有効的でなかった

説明: 開業以来、年間30万人を超える施設利用者がある

- (5) 施策実現に対する有効度 (総合計画の施策実現に対して有効的な事業か)
 かなり有効的 当初の予想どおり 想定よりも有効的でなかった

説明: 開業以来、年間30万人を超える施設利用者がある

- (6) 成果向上の余地 (施策実現に向け更なる成果向上の余地はあるか)
 大きい 小さい 無い

説明: 福祉関連のソフト事業や施設改修等により、効果向上の余地はある

- (7) 類似事業との統合・再編・連携の余地 (他の類似事業と統合や連携ができないか)
 統合や連携等の検討可能 統合や連携はできない 類似事業がない

説明: 類似事業がない

新たに生じた課題・解決できなかった課題等

改革案 (いつ、どのような改革を、どのような手段で行うのか)

【緊急性の評価】

- (8) 課題解決への緊急度 (なぜ早期に実施しなければならなかったか)
 法令等により期限がある 他事業よりも効果が大い 早期の取り組みが必要
 他事業よりも優先度が高い 市民の生命・財産を守るため 緊急性は低い

説明: 当施設の設置運営による観光振興・健康増進効果が大きい

【効率性の評価】

- (9) コスト削減の余地 (事業内容、職員労力、仕事の進め方などから)
 削減の余地あり 削減の余地なし

説明: 営業時間変更などの条件付きで、削減できる部分もある

- (10) 受益者負担の適正 (社会状況等から受益者の負担は適正か)
 正当な受益者負担 見直す必要あり 負担を強いる事業ではない

説明: 検討した結果、現在の料金体系となっている

【協働性の評価】

- (11) 市民との協働による事業実施 (協働による実施を検討したか)
 協働事業には不向き 協働では実施していない 協働で行ったが主体は行政
 協働で行ったが住民主体は一部 市民等が主体となって実施

説明: 施設管理事業であり、市民との協働は難しい。

- (12) 協働事業としての推進の余地 (今後、協働による推進できる余地はないか)
 余地あり 余地なし

説明: 施設管理事業であり、市民との協働は難しい。

所 属 長 総 括 評 価

スプリングスひよしは南丹市にとって観光の又、地域振興の拠点施設である。当施設の良好な管理運営のため、当該事業は妥当であり、事業の継続が必要である。

※事務局使用欄

一次評価	継続 (現状維持)	単なる温泉施設に終わるのではなく、商業基盤の一角となるような施設運営を考えてもらいたい。
二次評価	継続 (現状維持)	観光・地域振興の拠点施設であるスプリングスひよしを良好に維持するため、より積極的な事業の継続が必要である。